

SBCDC
SEQUENTIAL BOOST CONTROLLER DC

“BLITZ”-the ability to progress in parameter of the motor vehicle
Established in 1980, “BLITZ”has revolutionized the automotive industry

取扱説明書

BLITZ

CONTENTS

CONTENTS	2
安全上のご注意	3
はじめに	3
警告	3
注意	4
はじめにお読みください！	5
ご注意	5
製品の特徴	5
シーケンシャルバルブ制御方法	5
構成パーツリスト	6
オプションパーツのご紹介	7
取り付け作業手順	8
取り付け上のご注意	8
バルブユニットの取り付け方法	8
バルブユニットへの配管方法	9
アクチュエータータイプ	9
ウエストゲートタイプ	10
車種別基本配管図	11
コントローラーの取り付け	18
製品各部の名称	19
表示画面の切り替え	20
設定操作の説明	21
ブースト圧設定モード	21
ワーニング設定モード	22
リミッター設定モード	23
スクランブル設定モード	24
制御方式の切り替え	26
ゲイン調整モード	26
表示輝度調整	26
取り付け後の確認	27
装着可能自動車	27
本製品についてのご相談先	27
発売元	27
製品の初期値と仕様	28
本製品の保証について	30
保証書規定	31

安全上のご注意

はじめに

- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・この製品は競技専用部品です。一般公道での使用を目的とする場合は、改造申請を行ってください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡また警告は重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に
取り付けないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・この製品は、車両電源がDC 12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC 24Vで使用しないでください。火災の原因となります。
- ・バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
- ・この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、
販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中にこの製品の操作を行わないでください。
事故の原因となります。
- ・この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注
意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となりクレーム、修理の対象外となります。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたり、異物をかみ込んでバルブがスティックする事があります。
- ・過給圧の上げ過ぎには、注意してください。
過給圧を上げ過ぎると、エンジン・タービンを破損する恐れがあります。
過給圧の上げ過ぎ等、あらゆる不具合に関して、弊社は一切のその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

はじめにお読み下さい。

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本製品を安全に且つ正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をよくお読みください。

本取扱説明書は「SBC DC」専用の取り扱い、取り付け説明書です。

弊社で発売しています他機種のブースト圧コントローラーの取扱説明書とは文章、内容が異なりますのでご注意ください。

ご注意

本製品はターボチャージャー付き車両の過給圧（以下ブースト圧）を任意に調整する製品ですが、ノーマルブースト圧より下げることが出来ません。

本装置はブースト圧を任意に調整する装置で、燃料増量などは行いません。

ブースト圧の上げ過ぎによるターボチャージャーの破損、燃料ポンプの容量不足による燃圧の低下、インジェクター容量不足などによりエンジンの破損などを引き起こす可能性がありますので、取り付け、調整には十分注意して下さい。

なおこれらにより引き起こされたエンジン破損等のトラブルに関しては、当社は一切の責任は負いません。

この製品及び付属品は、改良の為予告なく変更することがあります。

本製品を使用する前に必ず取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を確認した上で安全な作業や操作を行う様にして下さい

製品の特徴

コントローラー、バルブユニット、CPUボックスの3ピース構造でコントローラー本体は厚みが15mmで、前面は1/2 DINサイズと大変コンパクトな設計となっています。

バルブユニットはシーケンシャル制御を採用しブースト圧の安定と鋭い立ち上がり、レスポンスを可能としました。

表示部には新型液晶を採用することで昼夜の視認性を大幅に向上させています。

設定ブースト圧はスクランブルモードを含め4チャンネルが個別に設定出来ます。

大型エンコーダスイッチを採用し操作性の向上を図りました。

機能はブースト圧表示、ピークホールド機能、パッシングホールド機能、ワーニング機能、リミッター機能、スクランブル機能、ゲイン調整機能があります。

ウエストゲート、アクチュエーターの切り替えは画面上の操作で可能です。

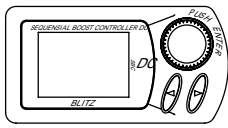
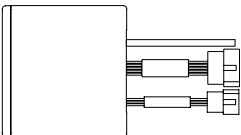
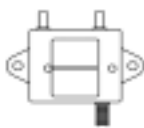













オプション機器を使用し、より高度なブースト圧コントロールが可能です。又、スクランブルON、OFFを別スイッチなど取り付けることで手元での操作が可能になります。

オプションパーツについての詳細はP7をご参照下さい。

シーケンシャルバルブ制御方法

2つのソレノイドバルブを別々の開度によって開閉します。低开度域では主にバルブ1の開度が変化し、高开度域では主にバルブ2の開度が変化します。

構成パーツリスト

		15055F	15055D
コントローラー本体	CPU本体	バルブユニット	メインハーネス
			
1個	1個	1個	1本
75131A	75315		73411
6ホース	4ナイロンホース	6用クランプ	4 - 6ストレート ジョイント
			
1本(2M)	1本(2M)	6個	1個
73242	73261	73406	
4用ナイロンホース ジョイント	ジョイントTパイプ	6スリーウェイ	両面テープ
			
1個	1個	1個	1枚
			15059T
エレクトロタップ	タイラップバンド 100MM	M6ボルト・ナット セット	取扱説明書
			
2個	6本	2セット	1冊

弊社別売りのオプションパーツの紹介

製品 名称 : ピックアップハ - ネス
製品 番号 : 1 4 3 5 2
希望小売価格 : ￥ 2 , 0 0 0 円
機 能 : SBC DCを使用してブースト圧の出力電圧をサンプリングする時に使用します。
装着可能製品 : 弊社のS - SBCを除く全てのブーストコントローラーに使用可能です。

製品 名称 : ブーストマップアナライザ -
製品 番号 : 1 4 5 0 0
希望小売価格 : ￥ 2 9 , 8 0 0 円
機 能 : 車速、エンジン回転数、0V～5V出力の電圧(スロットルポジションセンサー、空燃比センサー等)に応じてブースト圧をコントロールする2次元マップや車速&エンジン回転数、車速&電圧、エンジン回転数&電圧の3次元マップからのブースト圧コントロールを可能にし、9マップ+スクランブルで合計10通りのプログラムが設定出来ます。
装着可能製品 : 弊社のS - SBCを除く全てのブーストコントローラーに使用可能です。

【注意】ブーストマップアナライザ - のお取り扱い、販売はブリッツマップネットワーク店に限定させていただきます。

製品 名称 : 外部電圧入力ハーネス
製品 番号 : 1 5 0 5 3
希望小売価格 : ￥ 3 , 5 0 0 円
機 能 : SBC DCに使用する場合、電圧信号をブーストコントローラーに取り込むことで外部入力信号・数値の表示、外部起動スイッチを使用してブーストコントローラー機能の一部をON、OFFをさせることが出来ます。
使用 方法 : プッシュスイッチ、又はトグルスイッチ(ON・OFFが上下で作動するスイッチです)を取り付けることでスクランブルモードを外部スイッチで作動させることが出来ます。
装着可能製品 : SBC DC、SBC iDの2機種

【注意】SBC DCには外部データを表示する機能はありません。

取り付け作業手順

取り付け上のご注意

- 1. バッテリーのマイナス端子を取り外して下さい。**
ショート等による電装品の損傷や火災を防ぐためです。
- 2. ソレノイドバルブユニットへのホースの配管はINとOUTの区別がありますので間違いの無いよう注意して下さい。**
配管ミスはエンジン、ターボチャージャー等の破損に繋がります。
- 3. 配管、配線がしっかりと固定されているか確認して下さい。**
走行中に配管、配線が外れたりしますと運転に支障をきたし作動不良や事故の原因となります。
- 4. ホースの配管、メインハーネスは熱の影響を受けにくい場所を通して下さい。**
熱によりホース、ハーネス等が損傷しエア漏れや作動不良の原因となります。
- 5. コントローラー本体は運転上の、視界の妨げにならない場所、運転に差し支えの無い場所に取り付けて下さい。**
運転操作に支障をきたし事故の原因となり大変危険です。
- 6. 本製品を取り付けてブースト圧を上げる場合は、燃料の増量やブースト圧リミッターの解除、コンピューターのリセットが必要で**
す。
コンピューター等のセッティング又はリセットは必ず専門の業者に依頼して下さい。

バルブユニットの取り付け方法

1. エンジンルーム内であまり高温とならず雨水等、水の影響を直接受けない場所に取り付けて下さい。
(出来る限りターボチャージャーからの配管が1 M以内となる場所に付けて下さい。)
【注意】配管が長くなり過ぎますと、応答遅れの原因となりハンチングやオーバーシュートが発生しやすくなります
2. バルブユニットのコネクタに、メインハーネスを接続して下さい。

コントローラー側



バルブ側

バルブユニットへの配管方法

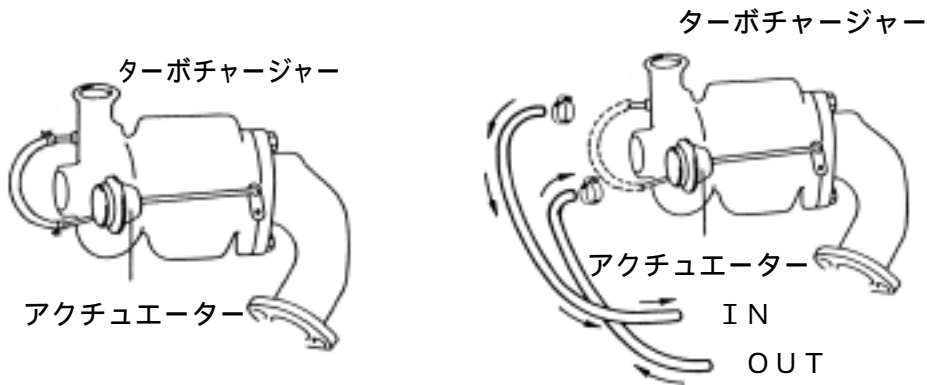
アクチュエータータイプ（スイングバルブ）

【注意】コントローラー本体の切り替えはアクチュエーター（AC）に合わせて下さい。

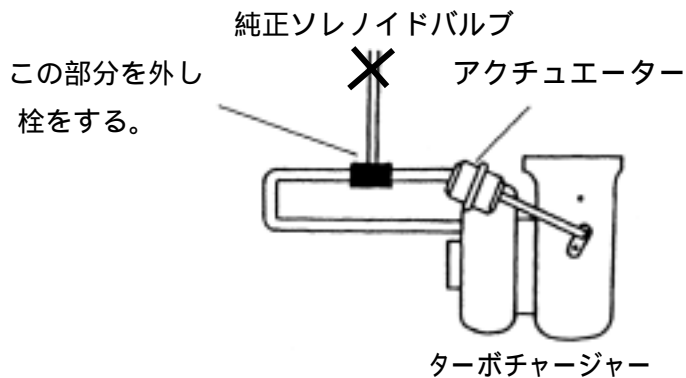
【注意】製品出荷時はAC側にセットしてあります。

【注意】切り替え方法はP 19を参照して下さい。

1. 付属のホースを適切な長さに切断しアクチュエーターに取り付け、ホースの反対側はバルブユニットのOUT側に配管し確実に固定して下さい。
2. ターボチャージャーのコンプレッサー後からスロットルバルブまでの間の取り出し口に付属のホースを適切な長さに切断し取り付け、ホースの反対側はバルブユニットのIN側に配管し確実に固定して下さい。

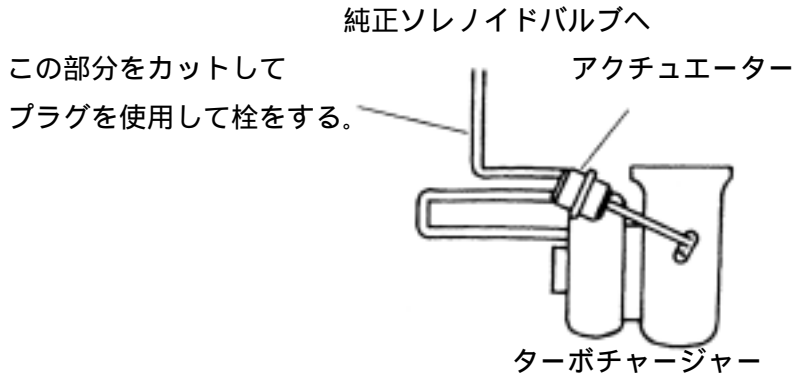


日産・三菱系の車両であるようなソレノイドバルブコントロール方式（純正）の場合は、下記の図のようにソレノイドバルブに行く配管を外してプラグを使用して栓をして下さい。又ソレノイドバルブからサクションパイプ側に戻してある場合はサクションパイプ側にも栓をして下さい。



トヨタ系車両にあるような2モードコントロール方式の場合は、下記の図のようにソレノイドバルブ（純正）に行く配管を外してアクチュエーター側、ソレノイド側個別にプラグを使用して栓をして下さい。

【注意】ソレノイドバルブ（純正）のコネクタは外さないで下さい。車両によってはエンジンチェックランプが点灯する車両があります。



ウエストゲートタイプ（ボペットバルブ）

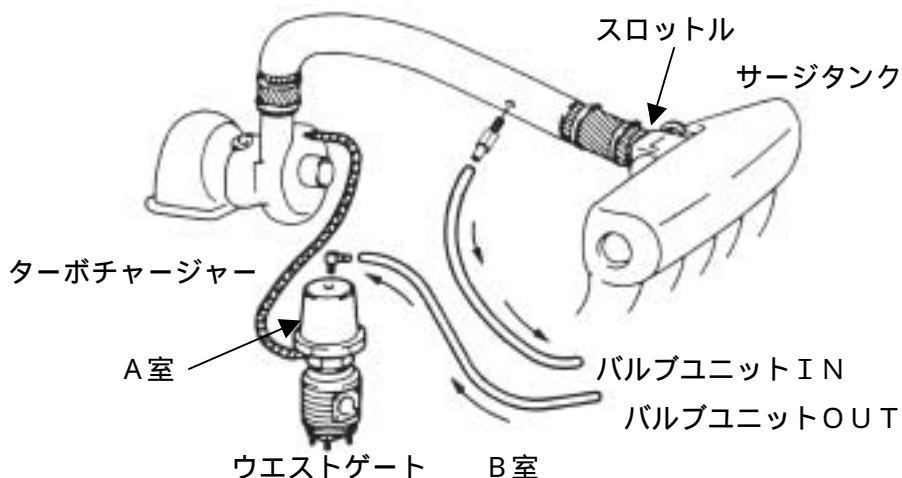
【注意】コントローラー本体の切り替えはウエストゲート側（WG）に合わせて下さい。

【注意】製品出荷時はA C側にセットしてあります。

【注意】切り替え方法はP19を参照して下さい。

1. ターボチャージャー（コンプレッサー側）からスロットルバルブまでの間からブースト圧を取り出し、バルブユニットのIN側へ配管しKIT内のクランプで固定して下さい。
2. 下記図にあるようにウエストゲートのA室とバルブユニットのOUT側へ配管しKIT内クランプで固定して下さい。
3. ウェストゲートのB室はバルブユニットのIN側と同じ圧力を掛けて下さい。

【注意】図ではターボチャージャーのコンプレッサーカバーからブースト圧を直接取っています。



【注意】圧力の取り出しはスロットルバルブより手前で行って下さい。

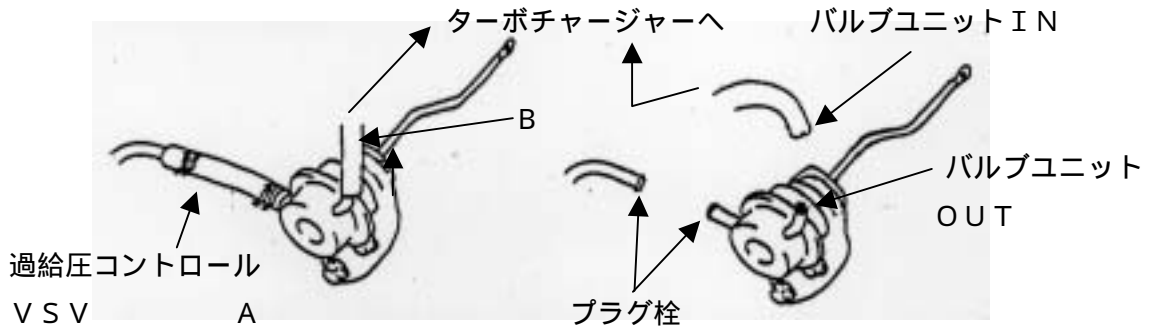
（ターボチャージャー～スロットルバルブの間で。）

車種別基本配管図

バルブユニットは適切な場所に取り付けて下さい。

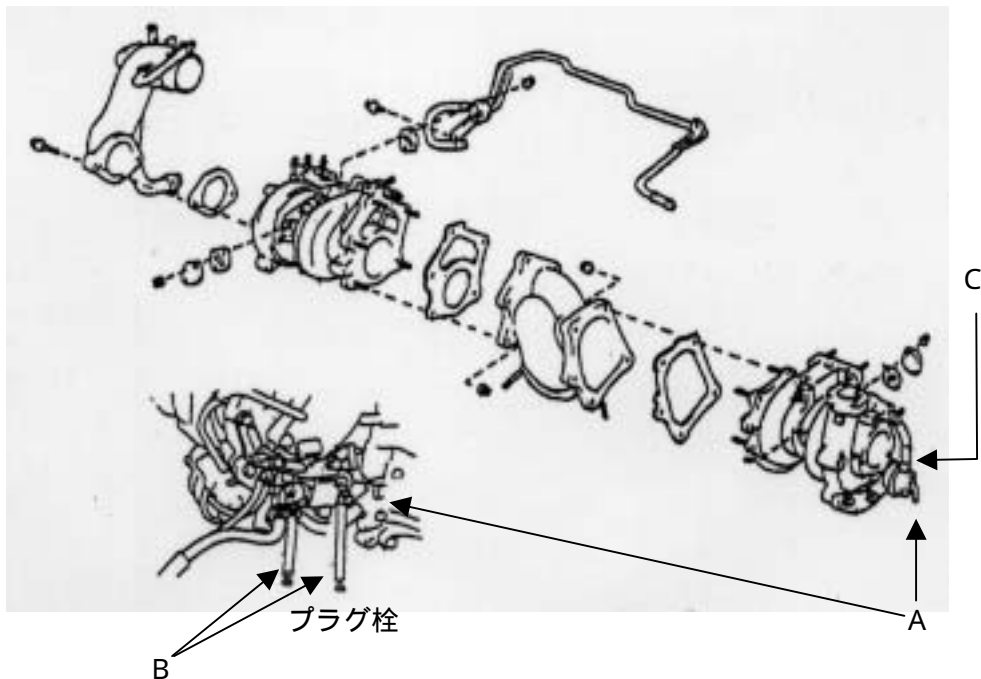
EP82 / EP91

1. アクチュエーターから2本ある配管のうち（AとB）、純正のコントロールバルブ（VSV）につながる配管（図中A）を取り外し、栓をして下さい。
2. アクチュエーターから出ているもう一方の配管（図中B）を取り外し、ターボのコンプレッサーをバルブユニットのIN側に配管し、アクチュエーターをバルブユニットのOUT側へ配管して下さい。



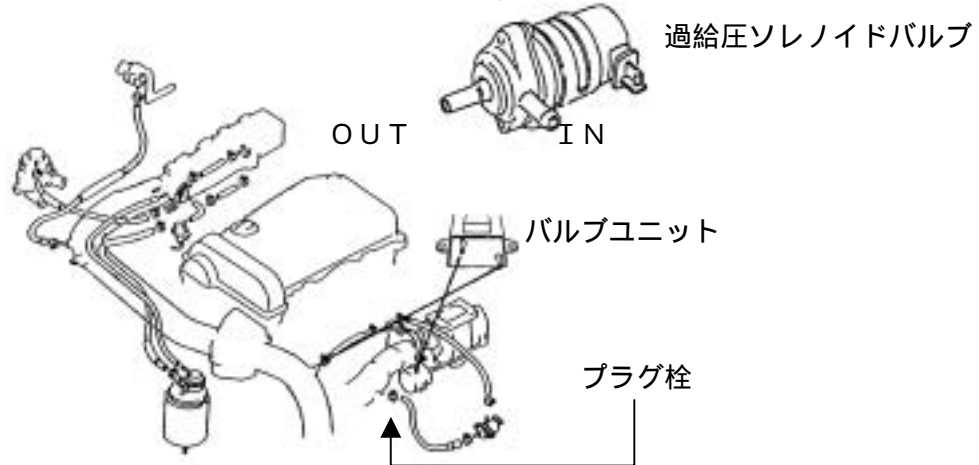
JZA80 / JZS147 / JZS161

1. 車両フロント側プライマリーターボチャージャーのアクチュエーター（図中A）から2本配管が出ています。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブに配管されている方（図中B）をカットし栓をして下さい。
2. アクチュエーターからターボのコンプレッサーカバーに繋がるもう一方の配管（図中C）を取り外しコンプレッサーからバルブユニットのIN側に配管し、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側に配管して下さい。



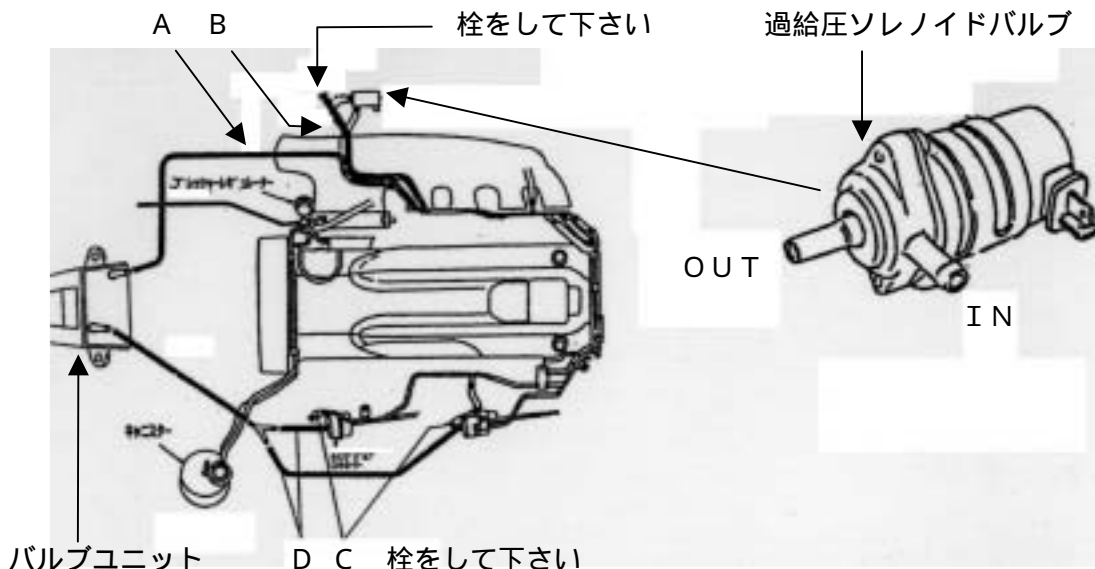
PS13/RPS13/S14/S15

1. 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し純正ソレノイドバルブを取り外して下さい。
2. 付属の 6 ホースを使用してインテークチューブとバルブユニットのIN側を接続して下さい。また、アクチュエーター側とバルブユニットのOUT側を接続して下さい。
3. 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして塞いでください。



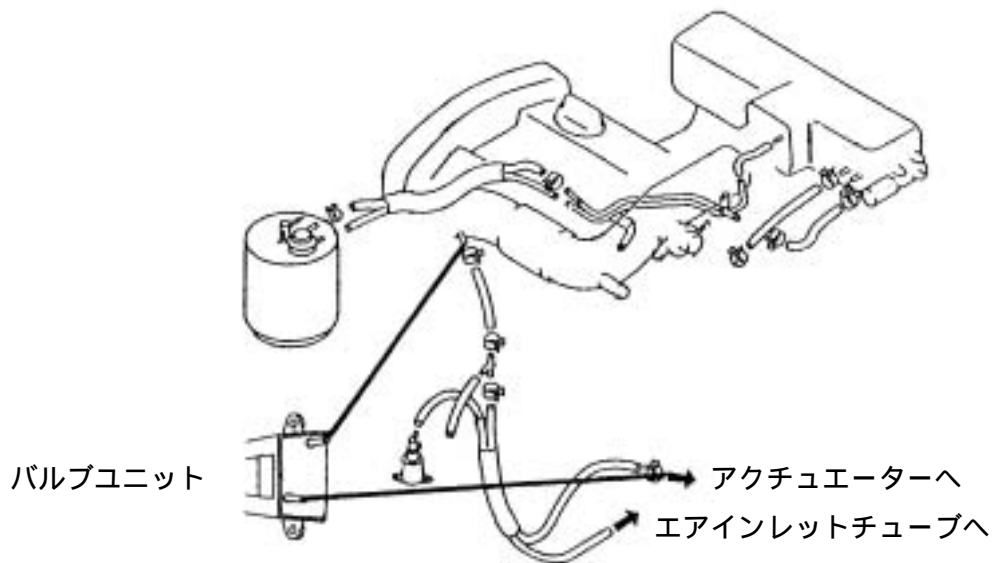
BNR32/BCNR33/BR34

1. 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの2本の配管の内、下図IN側をゴムホースの根元部分から外し(図中A)付属のホースでバルブユニットのIN側へ配管して下さい。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブの配管(図中B)はソレノイドバルブから抜き栓をして下さい。
2. 2つのターボチャージャーそれぞれに付属しているアクチュエーターの配管(図中C)を外し栓をして下さい。また、それぞれのアクチュエーターから配管を引き(図中D)付属の3WAYで一つにまとめてバルブユニットのOUT側へ配管してください。



ECR33/ER34

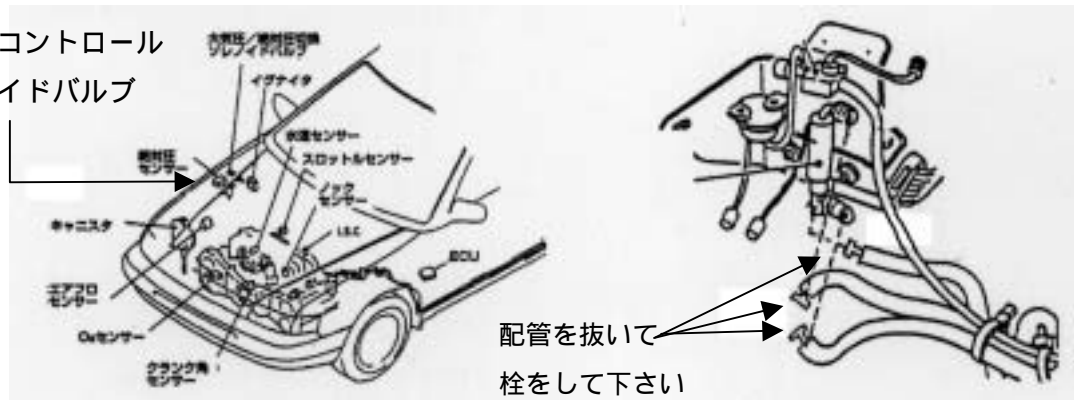
1. 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し純正ソレノイドバルブを取り外して下さい。
2. 付属の 6 を使用してインテークチューブとバルブユニットの I N 側を接続して下さい。また、アクチュエーターとソレノイドバルブユニットの O U T 側を接続して下さい。
3. 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブの O U T 側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして下さい。



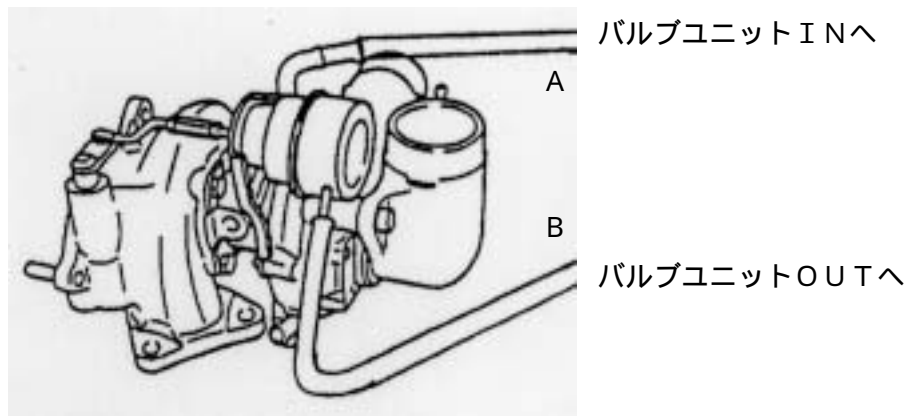
GC 8 / GF 8

1. 車両右側ストラット脇の過給圧コントロールソレノイドバルブから3本の配管全てを抜き、それぞれプラグ等を使用して栓をして下さい。

過給圧コントロール
ソレノイドバルブ

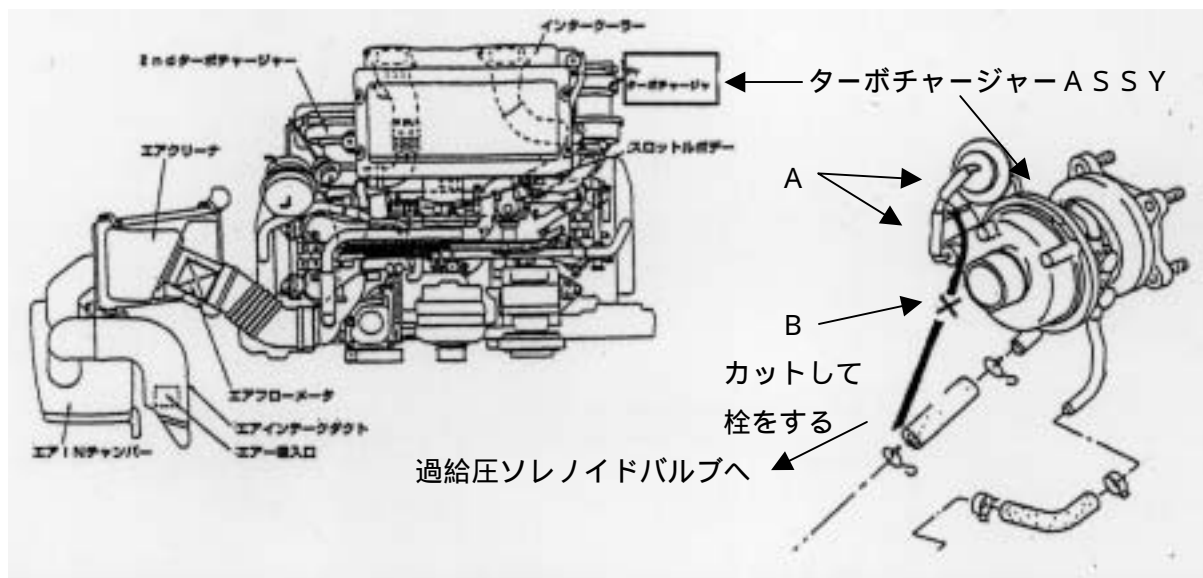


2. ターボチャージャーのコンプレッサーからバルブユニットのIN側へ配管 (図中A) しバルブユニットのOUT側からアクチュエーターに配管 (図中B) して下さい。



BG5 / BH5

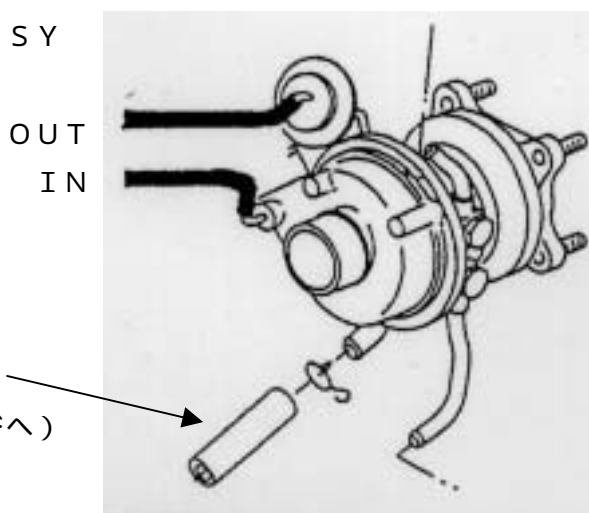
1. エンジン左側プライマリーターボチャージャーのコンプレッサーとアクチュエーターを繋ぐ配管（図中A）を取り外してください。中間に過給圧コントロールソレノイドへの3WAYがありますが一緒に取り外してください。



2. (1) で取り外した3WAYから出ているソレノイドバルブに繋がる配管に栓をし（図中B）をし、コンプレッサーからバルブユニットのIN側に、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側にそれぞれ付属の 6 ホースを使用して配管して下さい。

ターボチャージャー ASSY
（プライマリー側）

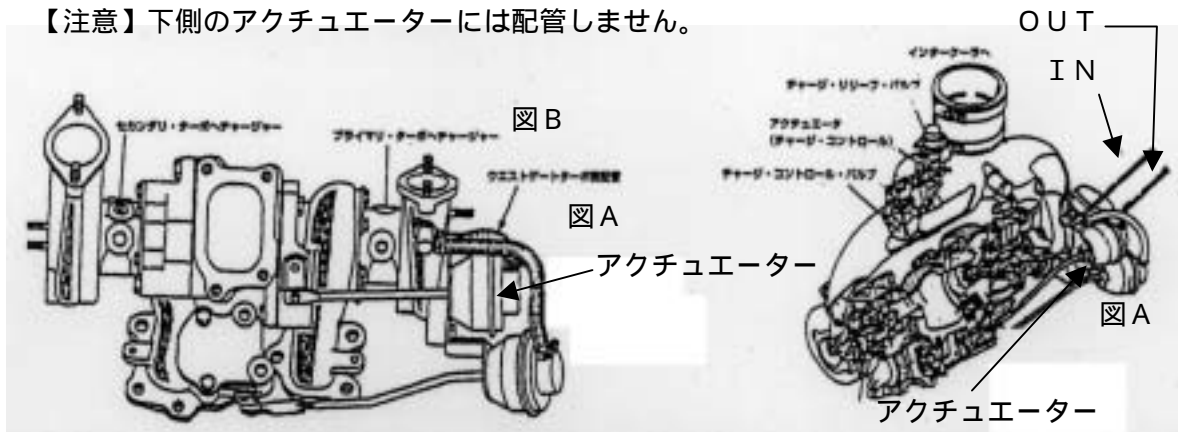
オイルホース
（シリンダーヘッドへ）



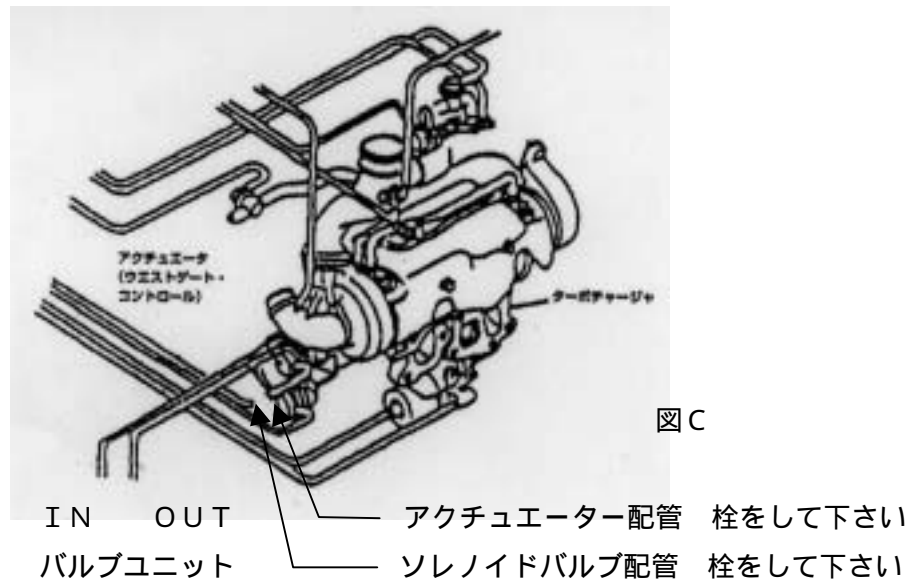
FD3S RX-7

1. 純正エアクリーナーBOXを取り外してください。
2. 車両フロント側のプライマリーターボチャージャーの下に2つアクチュエーターが縦に並んでいます。上側のウエストゲートコントロール用アクチュエーター（図中A）に2本の配管があり、まずコンプレッサーに繋がっている配管（図中B）を外しコンプレッサーからバルブユニットのIN側へ、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側へ配管してください。

【注意】下側のアクチュエーターには配管しません。

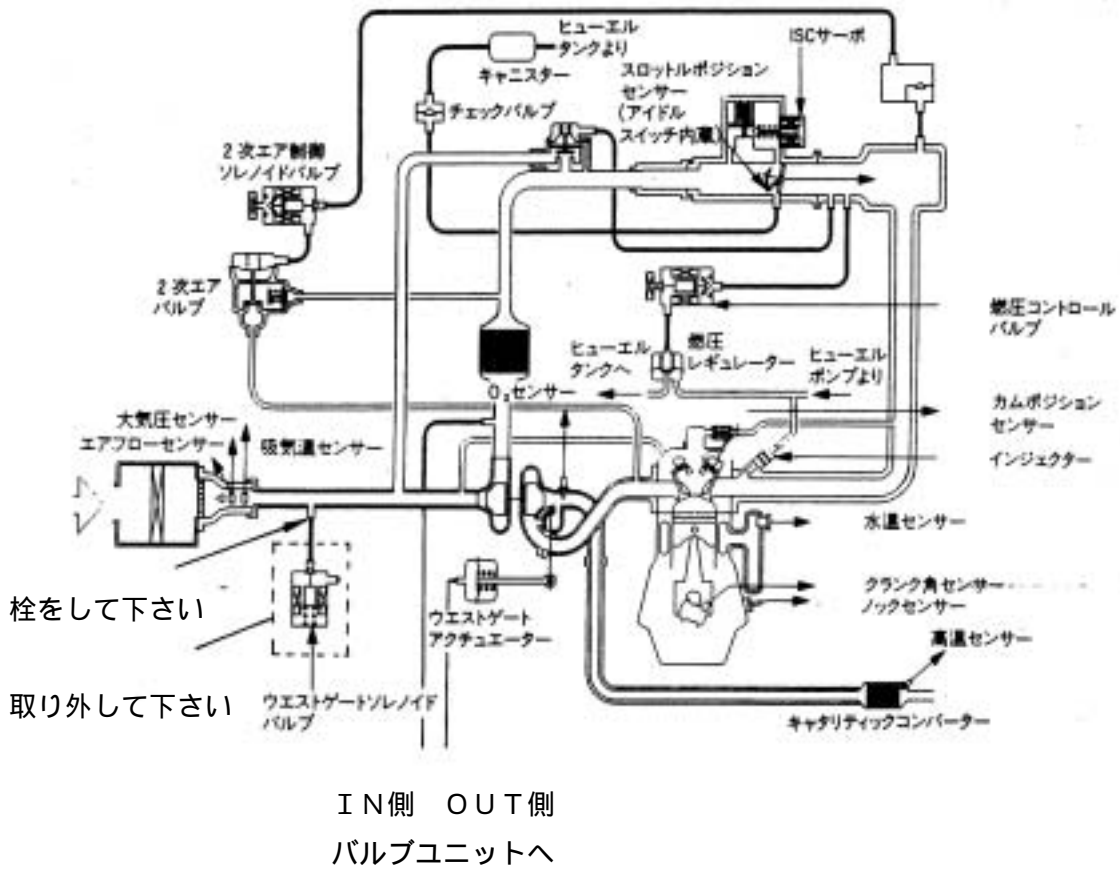


3. 次に2. のウエストゲートコントロールアクチュエーター（図中A）から出ているもう一方の配管（図中Cソレノイドバルブに繋がる配管）をカットして栓をして下さい。



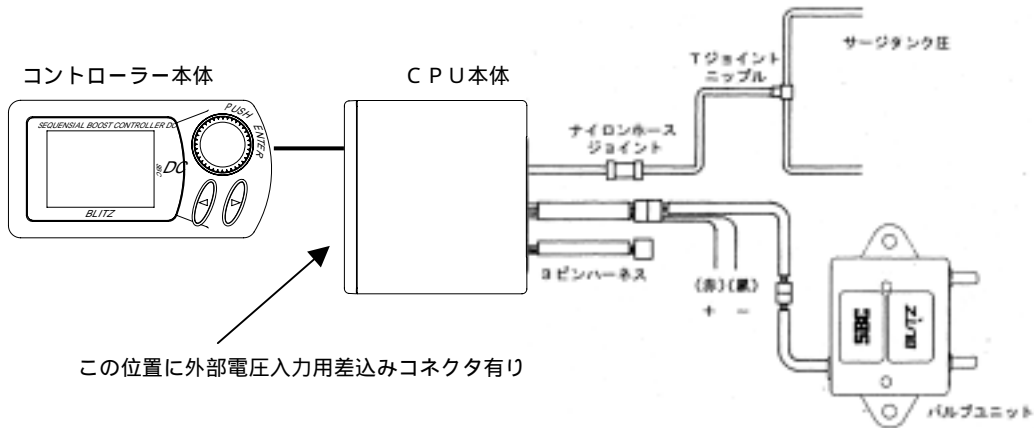
CN9A / CP9A

1. 純正採用されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し下図のように栓をして下さい。
2. 付属の 6 ホースを使用して下図のようにコンプレッサーのOUTとバルブユニットのIN側を接続して下さい。また、アクチュエーターとバルブユニットのOUT側を接続して下さい。
3. 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして下さい。(エアフロセンサー後)



コントローラーの取り付け

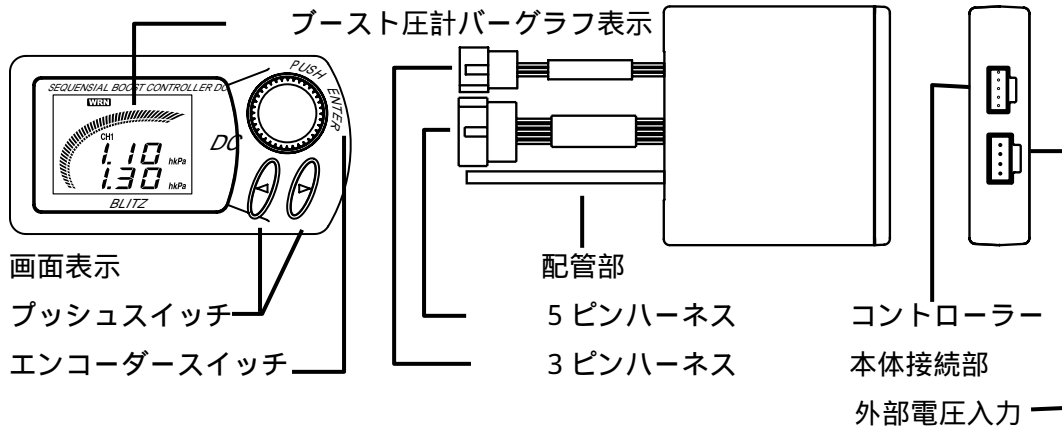
配管・配線図



取り付け手順の説明

1. メインハーネスから出ています電源+ (赤) をイグニッションONで12Vかかる所にエレクトロタップで接続しGND- (黒) をエレクトロタップでアースへ落として下さい。
2. CPU本体のコネクタにメインハーネスを接続します。
3. メインハーネスのもう一方をバルブユニット側のコネクタに接続します。
4. コントローラー本体からのハーネスをCPU本体に接続します。
5. コントローラー本体の操作に従い制御方式に応じて、アクチュエーター (AC) 又はウエストゲート (WG) のどちらかを選択しモードを切り替えて下さい。
6. エンジンルーム内のサージタンク (負圧から最大ブースト圧まで全ての空気圧を検出出来る所) よりKIT内パツのTジョイントと4ナイロンホースで配管し、付属のタイラップを使用してしっかりと固定します。ナイロンホースの先はCPU本体に4ナイロンホースジョイント用を使って接続して下さい。
ナイロンホースを室内へ配管する際は折れ曲がったり、潰れたりしないよう注意して下さい。
7. 3Pハーネスと外部電圧入力用コネクタはオプションパーツを取り付ける時に使用します。
オプションパーツについての詳細はP7を参照してください。

製品各部の名称



1. 画面表示

各表示をします。

2. プッシュスイッチ

右プッシュ : モード切り替え (右へ移行)

左プッシュ : モード切り替え (左へ移行)

左右同時押し : ピークホールド値のリセット

3. エンコーダスイッチ

回転ボリュームとプッシュボタン兼用です。

プッシュ : 決定、解除、設定時の表示切り替え、2秒押しでブースト圧設定画面 (さらに2秒押しでゲイン調整画面へ移行)、スクランブルON・OFF、全OFF画面3秒押しでウエストゲート・アクチュエーター設定画面

回転 : 数値の増減、パッシングホールドの設定・解除、照度調整

4. 配管部

サージタンクからの圧力を取ります。

5. 5ピンハーネス

メインハーネスを接続します。

6. 3ピンハーネス

オプションのマッピングアナライザーが接続出来ます。

オプションパーツについての詳細はP7ページをご参照下さい。

7. コントローラハーネス接続

コントローラ本体からのハーネスを接続します。

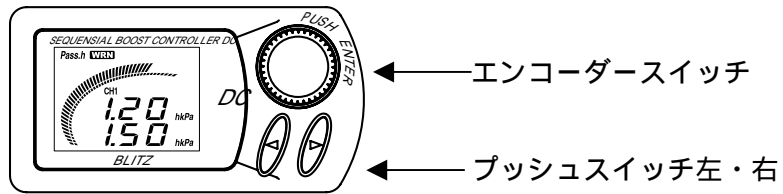
8. 外部電圧入力接続コネクタ

外部電圧入力ハーネスを接続します。

9. ブースト圧計バーグラフ表示

ブースト圧をバーグラフでリアルタイムに表示します。

表示画面切り替えについて



プッシュスイッチを押しますとチャンネルが切り替わります。

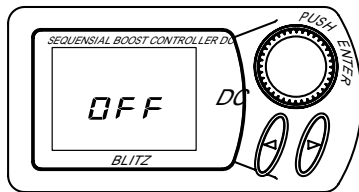


【注意】ワーニング画面の時は画面上“WARN”の文字が点滅しLEDは赤となります。

【注意】スクランブル画面の時は画面上“SCRAMBLE”の文字が点滅します。

画面OFFは画面中央に大きく“OFF”と表示されます。

【注意】画面OFFの画面表示の3秒後に画面が消灯します。エンコーダー、プッシュスイッチの操作で電源は自動的に復帰します。



1、2、3、EXT、OFFのモード時にエンコーダースイッチを左右3ノッチ以上回すことで表示上段のブースト圧表示を、リアルタイム表示かパッシングホールド表示かの切り替えを行うことができます。

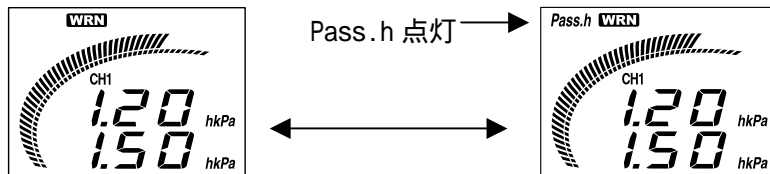
リアルタイムブースト圧表示（画面左上Pass.h表示無し）



パッシングホールド・ブースト圧表示（画面左上Pass.h表示有り）

リアルタイムブースト圧表示

パッシングホールド・ブースト圧表示



* パッシングホールド（Pass.h）とはその時のブースト圧から圧力が低下した時に、直前の最大ブースト圧を2.4秒間だけピークホールドして表示する機能です。

ピークホールド値のリセットは左右プッシュスイッチを同時押しすることでリセット出来ます。

“EXT”チャンネルは弊社別売りのオプションパーツを使用して、ブーストコントロールを行なう時に選択します。オプションパーツについての詳細はP7を参照して下さい。

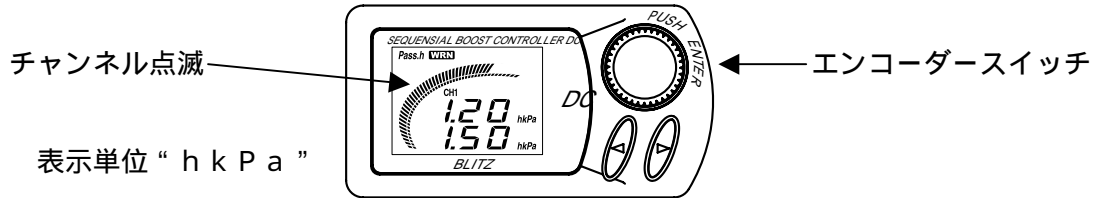
設定操作の説明

ブースト圧設定モード

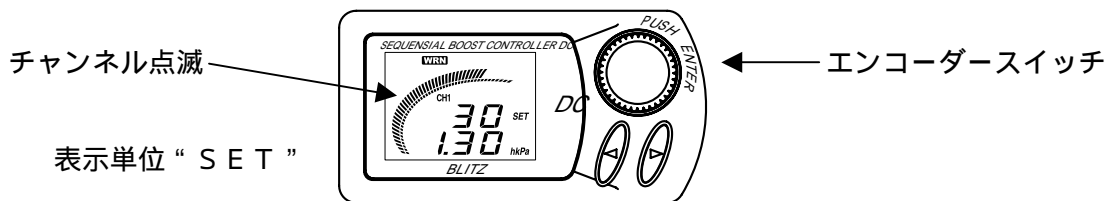
ブースト圧の設定は1、2、3、スクランブルのモードで個別に設定出来ます。

(スクランブルブースト圧設定はP 17を参照して下さい。)

1. 設定するチャンネルを選択しエンコーダスイッチを2秒以上押しますとチャンネルマークが点滅し設定モードとなります。



2. チャンネルが点滅し設定モードに入りますが、画面の数値は上下ブースト圧表示となっておりますのでさらにエンコーダスイッチを短く押しますとブースト圧設定値画面となります。(エンコーダスイッチを再び短く押すことでブースト圧設定モードを終了させることが出来ます。再度設定する時は1.の操作を再度行って下さい。)



3. 設定はエンコーダスイッチを右に回すと表示上段の設定数値が上がりそれに伴ってブースト圧も上がります。左に回しますと設定数値が下がりブースト圧も下がります。(ノーマルブースト圧以下には下がりません。)

設定モードの時は上段の表示がブースト圧であっても、チャンネルが点滅していればエンコーダスイッチを回すことでブースト圧設定値を変更することは可能です。

チャンネル点滅中、プッシュスイッチを操作することによりブースト圧設定モードの状態です。1、2、3チャンネルを移動し各チャンネルのブースト圧設定値を変更することが出来ます。

ブースト圧設定値画面の時、さらに2秒押しするとゲイン調整画面になります。

(ゲイン調整についての説明はP 19のゲイン設定モードを参照して下さい。)

ブースト圧設定数値の範囲は0～100まで、1ポイント刻みです。

【注意】1、2、3の各チャンネルが点滅し設定中に走行させた場合は、その時選択しているチャンネルに入力した設定値で走行します。

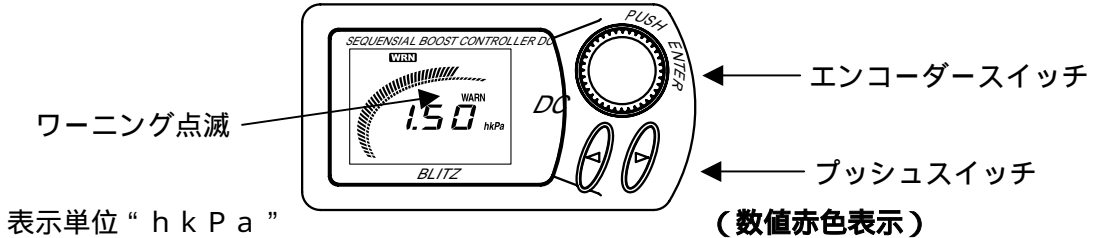
【注意】設定ポイント(0～100)はノーマルブースト圧に対する割合で、ブースト圧そのものではありません。

【注意】設定数値を100にしますとその車両のターボチャージャーの限界までブースト圧が上がりますので、ご注意下さい。

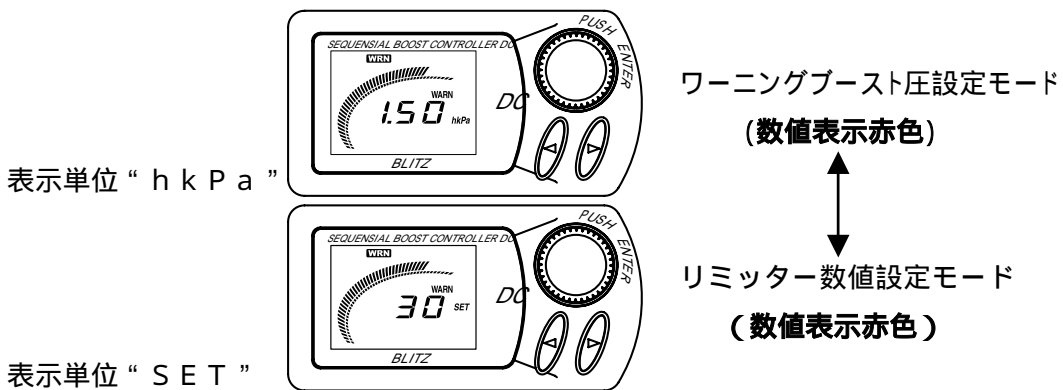
ワーニング設定モード

設定したブースト圧以上になると画面の点滅と警告音になります。

1. プッシュスイッチを操作し“WARN”(WARNが点滅し、画面数値の表示は赤になります。)にチャンネルを選択して下さい。



2. ワーニングブースト圧設定はエンコーダスイッチを回し希望数値を設定します。
3. エンコーダスイッチを短く押しますと画面表示が変わり、リミッター設定モード画面となります。リミッター設定についての詳細はP 1 6 リミッター設定モードを参照して下さい。(リミッターモード初期設定はL - O F Fとなっています。エンコーダスイッチを回すことで数値を増減させることができます。)



ワーニングブースト圧とバーグラフ表示ブースト圧の最大値は連動して変化します。ワーニングブースト圧を1.5 h k P aと入力するとバーグラフの最大値は1.5 h k P aとなり、最大値の2.45 h k P aと入力すればバーグラフの最大値は2.45 h k P aとなります。

但し、バーグラフの最低表示は1.0 h k P aとなっていますので、ワーニングブースト圧設定値を1.0 h k P a以下に設定してもバーグラフの表示の最大値は1.0 h k P a以下とする事は出来ません。

ワーニングブースト圧設定の範囲は0.00 h k P a ~ 2.45 h k P aです。

【注意】このモードで走行した場合ブースト圧制御は行いません。(ノーマルブースト圧になります)

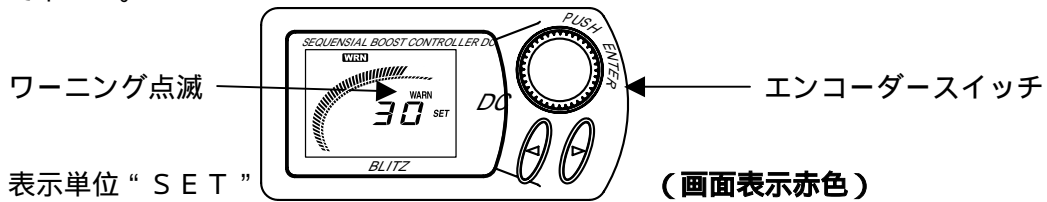
【注意】本機はワーニングOFFの設定は出来ませんので、設定最大値の2.45 h k P a以上でのワーニング作動(警告音と赤点滅)を無くすことは出来ません。

【注意】ワーニング時のリミッター作動を無くす設定は可能です。

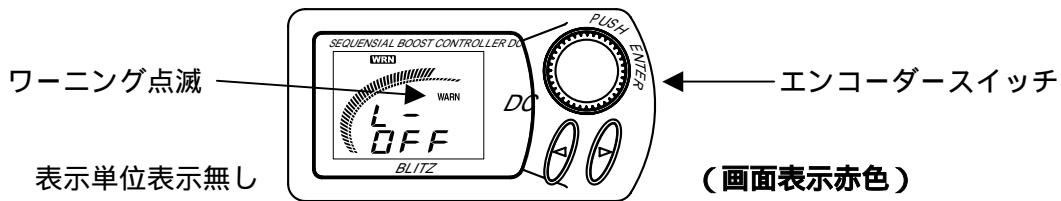
リミッター設定モード

ブースト圧がワーニング設定値に達すると自動的にリミッター設定モードで入力した数値にブースト圧が切り替わり、ワーニング作動時にブースト圧を下げるができます。

1. ワーニング設定モードの画面からエンコーダスイッチを短く押し、画面を切り替えて下さい。



2. 数値の設定はエンコーダスイッチを右に回すと設定数値が増え、左に回しますと設定数値が減ります。
3. リミッターOFF設定は“L - OFF”と表示されるまでエンコーダスイッチを左に回して下さい。



リミッターOFFの設定をした場合、設定ワーニング値に到達しても警告音と画面表示(LED赤)で確認は出来ませんが、ブースト圧の制御は行いません。

1、2、3、スクランブルの各チャンネルでブースト圧設定した数値より低い数値を入力することをお勧めします。

設定範囲はL - OFF (0) ~ 100です。

【注意】1、2、3、スクランブルチャンネルのブースト圧設定数値よりも、大きい数値は入力しないで下さい。誤作動の原因となります。

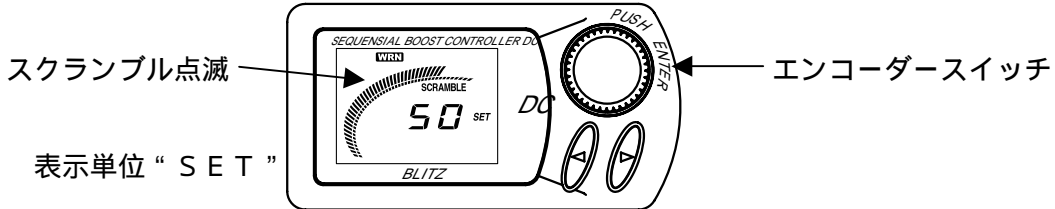
【注意】入力数値はブースト圧設定モードで説明したように、ポイント値でありブースト圧ではありません。

【注意】リミッターOFF設定はワーニング作動時に指定ブースト圧へ切り替える機能がOFFになる意味です。ワーニング機能そのものがOFFになるという意味ではありませんので注意してください。

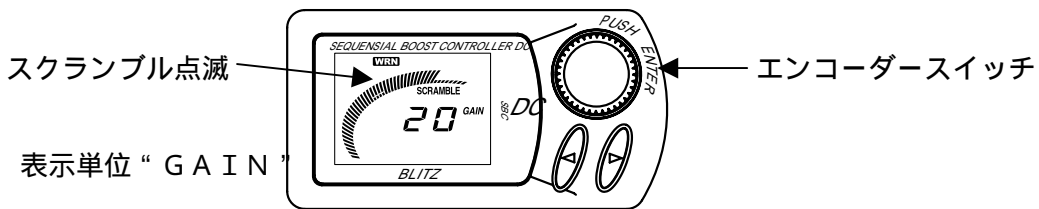
スクランブル設定モード

任意で設定した時間内（時間無制限選択有り）にのみスクランブルモードで設定したブースト圧で走行します。

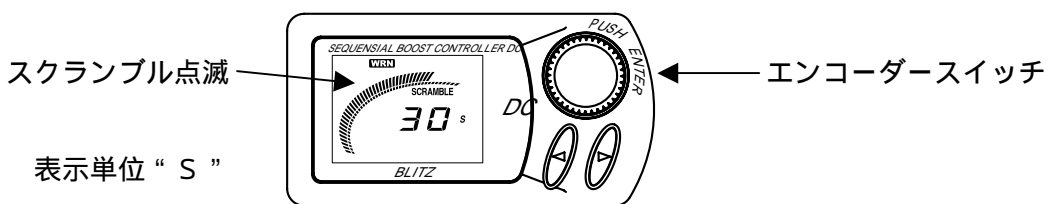
1. プッシュスイッチを操作して“SCRAMBLE”（SCRAMBLEが点滅します）のチャンネルを選択して下さい。



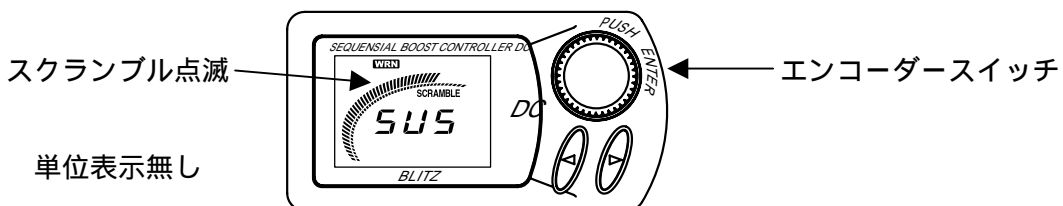
2. P14のブースト圧設定モードを参照し設定数値を入力して下さい。
入力した数値がスクランブル作動中の設定ブースト圧となります。
3. スクランブルブースト圧設定画面からエンコーダスイッチを短く押しますとスクランブルゲイン設定の画面になります。
1、2、3、EXTではゲイン設定は全て連動して数値は変化しますが、スクランブルモードのゲインはスクランブルモードのみで独立してゲイン調整をすることが出来ます。（ゲイン設定モードの説明についてはP19を参照して下さい。）



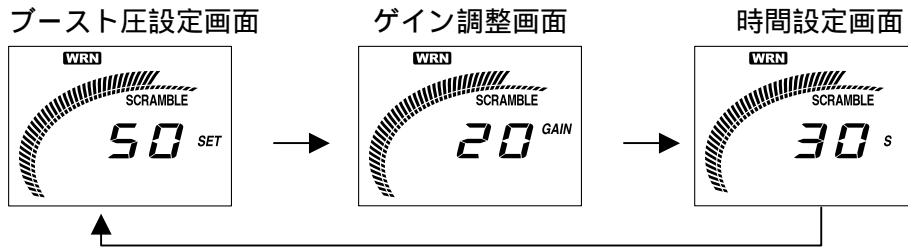
4. スクランブルゲイン設定画面からエンコーダスイッチを短く押しますとスクランブル時間設定モードの画面へ移行します。



5. スクランブル時間設定モードで入力しました数値が、スクランブル作動時間となります。エンコーダスイッチを回転させることで時間の増減が出来ます。
時間入力の最小値は0秒、最大値は99秒まで設定出来、それ以上は時間無制限モードへと移行し画面の下段表示は“SUS”と表示されます。



6. スクランプル点滅でエンコーダスイッチを押しますと以下の画面に切り替わります。



スクランブル設定で時間を入力しますと1、2、3、EXT、OFFはスクランブル待機状態になります。

スクランブル作動でブースト圧を上げるだけでなく、ブースト圧を下げる設定も可能です。

時間無制限ですのでスクランブルスタートしますと解除をするまで、スクランブル設定したブースト圧で走行します。

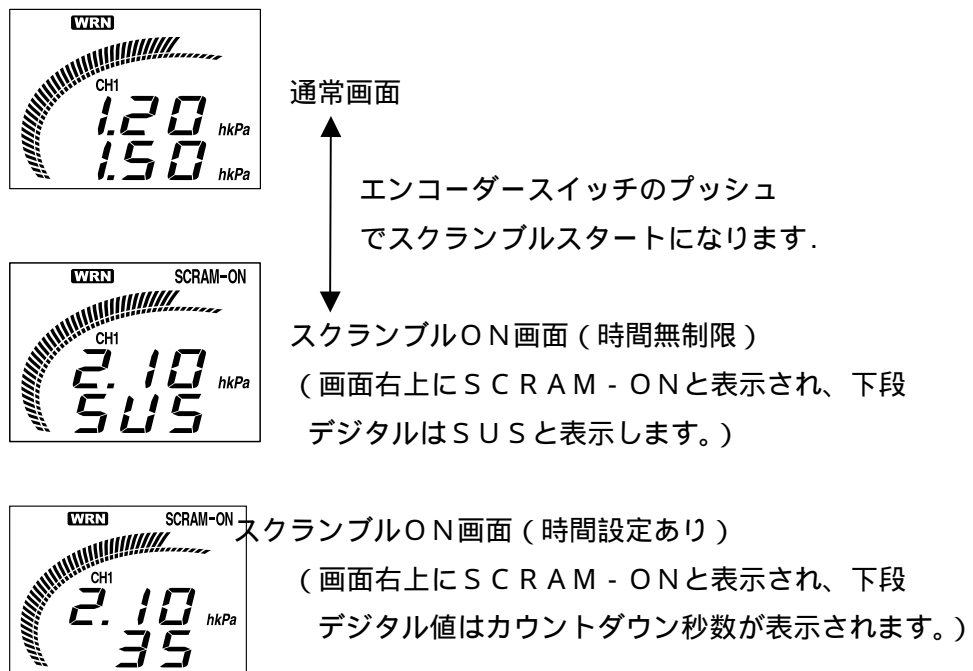
スクランブル解除はエンコーダスイッチを再度短く押すことで解除できます。

時間設定有りにした場合でもエンコーダスイッチを短く押すことでスクランブルを途中解除できます。

スクランブル作動中はピークホールド表示が使えなくなりますので、上側のブースト圧表示をパッシング・ホールドモードにセットすることをお勧めします。

7. スクランプル設定をしますと1、2、3、EXT、OFF画面時にエンコーダスイッチを短く押すことでスクランブル作動となり、スクランブル設定したブースト圧での走行となります。(図2)

【注意】スクランブル時間設定をしなかった場合(時間SET 0秒)はエンコーダスイッチを短く押しましても何も起動しません。通常画面から変化はしません

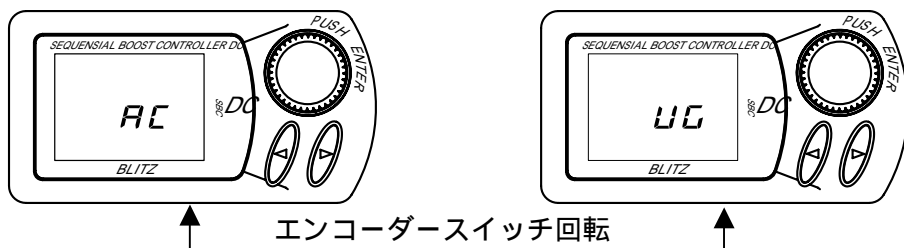


制御方式の切り替え

ターボチャージャーの制御方式に合わせコントローラーをアクチュエーター式（スイングバルブ）又はウエストゲート式（パペットバルブ）なのか選択します。

1. プッシュスイッチでチャンネルを画面OFFに選択し、エンコーダスイッチを2秒以上押して下さい。

画面は図1に切り替わり、エンコーダスイッチを回すことによりアクチュエーター（画面表示はAC）とウエストゲート（画面表示はWG）の画面が交互に切り替わりますのでターボチャージャーの制御方式に合わせて選択してください。

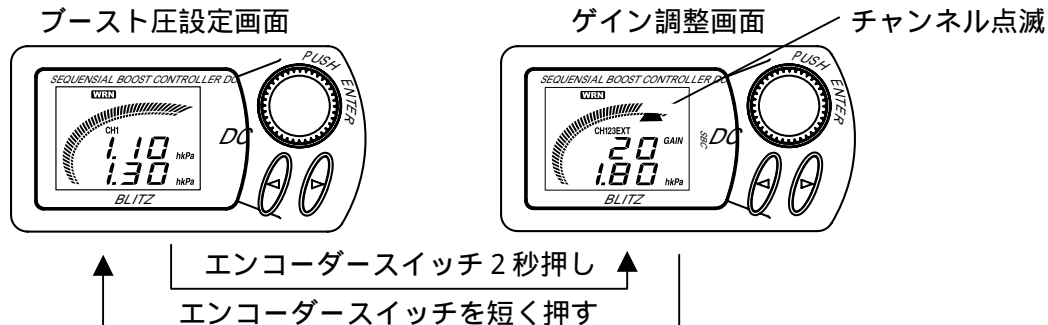


ゲイン調整モード

ブースト圧の立ち上がりを調整します。

1. ブースト圧設定画面からエンコーダスイッチを2秒以上押しすると図1のゲイン調整画面へと移行します。

【注意】ブースト圧設定画面であっても上のデジタルがブースト圧表示のままで2秒以上押しましてもゲイン画面には移行しません。

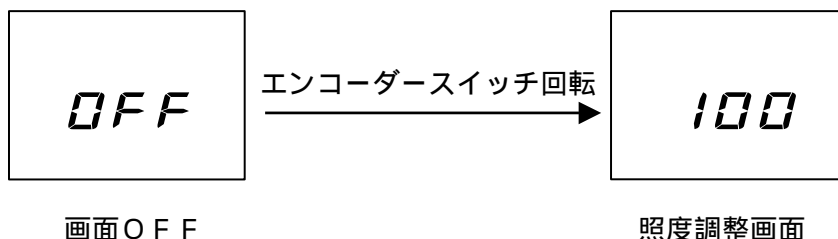


2. 数値を大きくして行きますとブースト圧は早く立ち上がり、小さくしますと立ち上がりは遅く出来ます。

【注意】数値を大きくしますとブースト圧も上がりますので、ブースト圧設定値を事前に下げてからゲイン調整を行ってください。

表示輝度調整

画面OFF時にエンコーダスイッチを左右どちらかに回しますと輝度調整画面になりエンコーダスイッチを左右に回すことで画面の明るさを任意に調整出来ます。



取り付け接続確認

各部品はしっかりと固定されているか確認して下さい。

長時間走行した時に部品などが外れますと、大変危険です。

配線・配管を間違えていないか、確実に接続されているか確認して下さい。

配線・配管に不具合が有りますと作動不良の原因となり、車両火災、車両電装品故障、エンジン破損の原因となる場合が有ります。

配線、配管、本体、コントローラーの取り付け取り回し状態が、周囲の部品と干渉していないか確認して下さい。

可動部と接触していたり長時間の走行で接触部双方に傷が付いてショートを起こしたり、配管に亀裂穴が開きますと、本製品ならびに車両側製品の作動不良の原因になったり、車両火災、車両電装品故障、エンジン破損の原因となる場合が有ります。

警告

取り付け確認作業を怠り、取り付けが原因によるあらゆる過失に関して弊社は一切の責任を負いかねます。

装着可能車両と製品構成

装着可能車両 : 電源回路がDC12Vのターボチャージャー装着車両。

製品名称 : SBC DC (エスビーシー ディーシー)

製品番号 : 15060

使用目的 : ターボチャージャー付き車両のブースト圧の制御と表示。

製品についてのご相談

連絡先 : 株式会社 ブリッツ

所在地 : 〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6

TEL : 0422-60-0515

FAX : 0422-60-0521

URL : <http://www.blitz.co.jp>

発売元

発売元 : 株式会社 ブリッツ

所在地 : 〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6

取説番号 : 1506001

初版作成日 : 2001-11

本製品の基本設定 SBC DC

初期設定値

チャンネル	: CH1
ブースト圧設定値	: MIN値(0)
ピークホールド値	: 0.00 h k P a
ワーニング設定値	: 2.45 h k P a
リミッター設定値	: 0 (L - OFF)
スクランブル設定値	: 0
スクランブル時間設定	: OFF
GAIN設定値	: 20
AC/WG切り替え	: AC (アクチュエーター)
LED輝度	: 100

製品仕様

ブースト圧表示範囲	: - 1.00 h k P a ~ 2.45 h k P a
ブースト圧設定チャンネル数	: 3チャンネル+スクランブル
ブースト圧設定数値範囲	: 0 ~ 100 1ポイント刻み
ピーク値表示範囲	: - 1.00 h k P a ~ 2.5 h k P a
ワーニング設定範囲	: 0.00 h k P a ~ 2.5 h k P a
リミッター設定範囲	: 0 ~ 100 1ポイント刻み
スクランブル設定範囲	: 0 ~ 100 1ポイント刻み
スクランブル設定時間	: 0 ~ 時間無制限 (1秒刻みは99秒まで)
GAIN設定範囲	: 0 ~ 100 1ポイント刻み
センサー出力範囲	: 0V ~ 5V出力 (- 1.41 h k P a ~ 2.88 h k P a)
電源	: DC 12Vバッテリー車両対応
バックライト	: ワーニング設定時 赤色点灯
	: リミッター設定時 赤色点灯
	: ワーニング値オーバー時 赤色点灯

保証書 (切り取って御使用下さい)

製品名 SBC DC (エスピーシー ディーシー)

製品番号 15060

この度は本製品を御買い上げ頂きまして、誠に有難う御座います。
本製品が正常な御使用状態で、製造上の原因による故障が生じた場合、下記保証期間中に
おいて本状記載の保証規定に基づき無償修理致します。保証期間は購入日より1年間です。

商品購入日： 年 月 日
取り付け車両名：
車両年式：
車両型式：

エンジン形式：

お客様住所：

お客様氏名：

販売店名：

(販売店様へ)

本保証書には、御買い上げ日、販売店名(印)などの記入漏れがない様にお願い致します。
万一記入漏れがありますと、保証期間中でも有償となります。

(お客様へ)

本保証書をお受け取りの際は、保証書に記入漏れが無い事を必ず確認して下さい。
万一記入漏れがありましたら、ただちに御買い求めの販売店に申し出て下さい。